

第 45 号

発行所

関高等学校同窓会

岐阜県関市桜ヶ丘 2-1-1

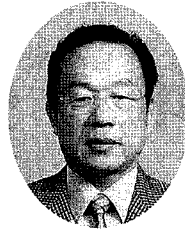
郵便番号 501-3903

電話 (0575) 22 - 5688

FAX (0575) 23 - 7089

校訓
進取
至誠
錬磨

同窓会の発展のために



会長
堀部 哲夫

昨年2012年6月16日の関高同窓会総会におきまして会長にご承認頂きました。以来、1年が経過しました。この間、事務局をしてくださる先生方、役員の皆様、多くの関高OBの皆様方に支えられて、無事に務めさせて頂くことが出来ました。改めて、お礼申し上げます。

この間、関高同窓会会長として様々な行事、催しに出席させて頂き、関高OBが多面で素晴らしい活躍を見せている様を見させて頂きました。そして、今や関高同窓会は会員が3,000,000人に達しようとしています。全国各地で、また世界のいたる所で活躍されています。改めて、関高同窓生の偉大さを感じた次第です。

この素晴らしい人材を有する関高同窓会の存在意義を高めることは非常に重大なことであると思うようになりました。それは、OBの皆様が同窓会を通じて親交をかさね、情報交換をして、さらにご活躍の場を広げられることにあると思います。そのために、2つの提案をしたいと思っております。

1、OBの皆様が参加や催される行事に、関高同窓会が積極的に関わっていくこと。

たとえば、その催しの案内や報告を「桜ヶ丘だより」で取り上げ、多くの同窓生に知らせると同時に、PRに努めることです。それにより、その行事がさらに盛大になり、参加者が増えることの一助になるようにできないでしょうか。

また、その催しを賛助したり、OB同士声掛けあつて共に参加できるのではないのでしょうか。

2、大きな災害が起きたときに、全国にいたる関高同窓会の会員同士がボランティアとして助け合うことができないでしょうか。助けられた同窓生の喜びは他の人に助けられた場合よりまちがいがなく大きいことでしょう。ボランティア活動する方にも、同窓生に手を貸す方がやりがいがあり、より力が入ることでしょう。

災害のボランティアに出かける前に、まず、関高に電話をして、そこに同窓生がいないか情報を得られるようなシステムができればと考えています。

関高同窓会の存在意義が上がつてくれば、同窓会へのご理解もより深まってくるでしょう。多くの皆さんがより利用しやすい関高同窓会になることを願って残りの任期を頑張っていく所存です。今後ともご支援頂きますようお願い申し上げます。

学校長挨拶



学校長
安藤 敏彦

いよいよ少子化が岐阜県の高等学校教育に大きな影響を与えようとしています。県教委作成の資料によれば、美濃地区の中学校卒業予定者数は平成28年度より緩やかに減少し、10年後の平成38年度に本年度比約270人減少するとの数字が公表されています。このような将来状況を見据えて、県

平成25年度

関高等学校校幹事会

副会長 長尾 一郎 (高32回生)

去る5月11日(土)、新緑の風薫る彩雲館大研修室において、幹事会兼第一回役員会が開催されました。

堀部会長の挨拶では、同窓会の意義を考え、OBの方々活躍している、関高OB展や、「さくらウインドオーケストラ」の活動に協力する旨と、災害時のボランティア支援体制の構築をしていきたいと抱負を述べられました。

教委においても「第2次教育ビジョン(H26~30)」の策定を進めており、現在改革に向けての議論が鋭意続けられています。

改革の柱は次の3つで、高等学校については「中長期的な学校改革」が重点とされています。

- 【重点政策】
- ① 学力向上を核とした義務教育の改革
- ② 中長期的な将来を見据えた高校の改革
- ③ 卒業後を見据えた特別支援学校の改革

これに関わって、6月上旬に3千万円の予算規模で実施される「県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業」の採択校発表があり、関高校を含めた10校が「教育改革重点推進校」(通称リーディングハイスクール)として指定されました。

関高の提案は、「地域社会の期待と信頼に応える学校づくり」として併設型中高一貫校の設立を提案するもので、そのための調査・研究が認められた形

安藤校長からは、例年通りの進学率を達成し、後輩たちに繋げていきたいと述べられ、また、10年以内の少子高齢化の中で高等学校教育の生き残りをかけ、10年から20年先を見た、教育が必要であるとの挨拶がありました。

その後議事に入り、平成24年度の事業報告と会計報告、平成25年度の事業計画案と予算案が審議され、満場一致で承認可決されました。

次に、平成25年度全国支部連絡協議会について審議され、関市内で9月に行うことが決定しました。それから、震災を含め災害時に関高OBとして被災されたOBの方々地域にボランティア支援をしやすくするために、連

となつていきます。具体的な内容の紹介は避けませんが、ここで提案しましたのは「グローバルな人材育成」ということ(つまり「グローバルな視点を持つ生徒を地域の学校が育てる」というのがその理念であります)。

内容的には「真に使える英語力の育成」と「習熟度別・少人数指導による学力向上」をキーワードとしたもので、奇しくも国の教育再生会議の提言と軌を一にしたものとなっております。特にこの「グローバルな人材育成」という理念は、今後の少子化社会における地域の在り方を考える上で、なくてはならない重要な理念だと考えています。

いずれにしましても、時代の大きな転換期にあたる今、日々戸惑うことが多い社会状況ですが、時代の行く末をしつかり見極めながら学校経営にあたるのが肝要ですので、今後も広い視野をもって歩んでゆけたらと考えています。つきましては、母校関高の今後にご支援いただきますことを切にお願いする次第であります。

※グローバルとはグローバルとローカルの混成語

絡網を作

り迅速に

対応する

ことが決

議されま

した。

堀部会

長を中心

に、関高

等学校同

窓会がま

すます発

展し、ま

た、同窓

会会員の

皆様のご

活躍を祈

念してお

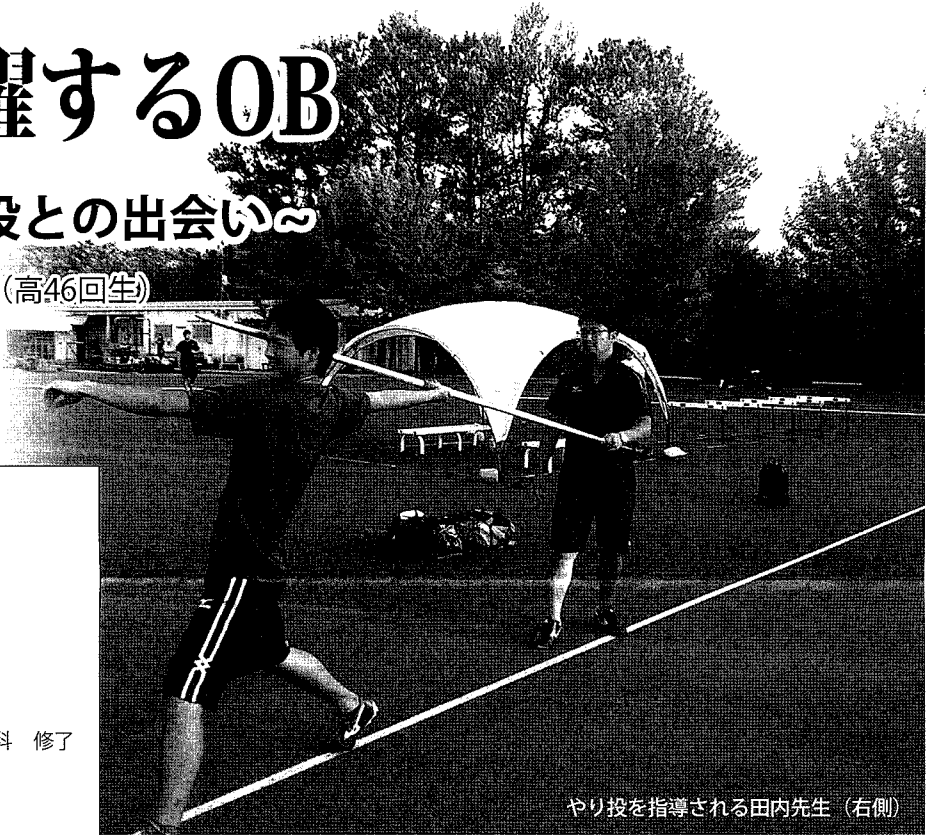
ります。



世界で活躍するOB

～私の原点、やり投との出会い～

田内 健二 (高46回生)



やり投を指導される田内先生 (右側)

プロフィール

■ 学歴

1994年3月
岐阜県立関高等学校 卒業
1998年3月
筑波大学体育専門学群 卒業
2003年3月
筑波大学大学院博士課程体育科学研究科 修了

■ 職歴

2003年4月
国立スポーツ科学センター・研究員
2006年4月
早稲田大学・スポーツ科学学術院・助手
2008年4月
早稲田大学・スポーツ科学学術院・助教
2011年4月
中京大学・スポーツ科学部・講師
2013年4月
中京大学・スポーツ科学部・准教授

■ 競技歴

1998年
日本インカレ男子やり投2位
やり投岐阜県記録 (73m97) 保持者

■ 指導歴

2006年～10年
早稲田大学競走部投てきコーチ
2011年～
中京大学陸上競技部投てきコーチ
2007年
東アジア大会陸上競技投てきコーチ
2010年
世界ジュニア陸上競技選手権大会投てきコーチ
ディーン元気(ロンドンオリンピック日本代表)
専任コーチ

■ 社会的活動

2004年～
日本陸上競技連盟科学委員会委員
2008年～
日本陸上競技連盟強化委員会投てき部委員

私がやり投を始めたきっかけは、高校2年生の秋に行われた中濃地区大会で、中学まで野球をやっていたことから、顧問の先生に勧められて出場したことでした。それまでは、走幅跳を専門種目としていたもので、やり投には全く興味がありませんでしたが、大会前に少し練習してみたら意外に飛ぶことがわかり、試合に臨みました。その結果、確か53mくらいを投げて大会新記録で優勝してしまいました。その後、50m後半を投げればインターハイに行けることを知り、高校3年生から本格的にやり投に取り組みました。

当時の学年主任だった先生が「学年で学力が100番以内にいないければ部活動をする資格はない」と口癖のようにおっしゃっていたのを真に受けて、高校3年生になるまではなんとか勉強と陸上競技を両立させていましたが、やり投で成績を残すのに反比例して、学力はどんどん落ち、3年生の10月の全国模試では学内で200番以下になっていたと思います。その後、高校での陸上競技を引退し、1月のセンター試験まで寝る以外はすべて受験勉強に費やして、なんとか筑波大学に進学しました。

高校時代の思い出は、まずは強歩大会です。高校生でマラソンに近い距離を走った(途中歩きも入れて)という経験は、その後の人生の中で何度も自慢話として、いろいろな場面で語ってきました。そして、高校時代といったら、自宅から学校まで片道14km(往復28km)を毎日自転車で通っていたことが最も強く印象に残っています。よく小テストのために単語帳を開きながら自転車を漕いでいました。それ以外は、本当に授業(勉強)と陸上競技に明け暮れていました。

大学に入学後は、やり投に没頭し、大学院1年生の時に日本インカレ2位(自己記録の73m97は現在も岐阜県記録で残っているようです)という成績を収め、1998年にはアジア大会(バンコク)の代表候補になったこともありましたが、結局は日本代表になれませんでした。その悔しさもあり、大学入学当初は岐阜県に戻り保健体育の教員になろうと思っていましたが、世界レベルで活躍するやり投選手を育てたいと思い、大学の教員を目指しました。その後、早稲田大学で任期付教員としてお世話になっているときに、ディーン元気選手(現在、早稲田大学4年生)と出会い、昨年開催されたロンドンオリンピックにコーチとして参加しました。自分で育てた選手が、オリンピックで世界トップレベルの選手と肩を並べて競技している姿を見て、私自身が競技者としてやり投をやっていたときに夢見ていたことが、コーチとしてではありますが現実になったと本当にうれしく思いました。

3年前から中京大学に専任教員として着任し、陸上競技の授業や研究を行うと同時に、陸上競技部の投てきコーチとして活動しています。ディーン選手とは定期的に中京大学で合宿を行いながら、次のリオデジャネイロで開催されるオリンピックを目指してトレーニングを継続しています。そして、第2、第3のディーン選手を中京大学から輩出できるように、陸上競技場でコーチングをする毎日を過ごしています。

6回生同窓会に出席して

藤田 芳郎 (高6回生)

私たち6回生は喜寿を迎えたのを記念して平成25年3月30日、桜花爛漫の関小瀬観光ホテルで同窓会を開きました。

出席者は男女とも31人ずつの62人。まるで婚活パーティーのようでした。

卒業して60年、当時の凛とした容姿はさすがに失せてはいても面影はどこかに残っていて、直ぐに誰だか思い出すことができ、青春時代に戻つての和やかな親睦会となりました。とかく縦の上下社会にあつても、同窓会だけは横一線の絆で結ばれていて、3年間の同じ思い出を蘇らせてくれるからでしょうか。

寡たけなわともなると、素人離れしたマジックを披露する者、デュエットで楽しそうに歌う者、果ては「もう代われよ」のヤジが飛ぶほどにマイ

第23回 関高等学校同窓会・東京支部 総会及び懇親会

副会長 筒田 義和 (高23回生)

平成25年6月23日(日) 12時から東京 八重洲富士屋ホテルにおいて、関高等学校東京支部の総会及び懇親会が97人の参加により、盛大に開催されました。大平進一東京支部会長の挨拶・ご来賓の紹介に続き、安藤敏彦校長の「関高校の現状・将来の構想について」お話をいただき、堀部哲夫本部長よりお祝いのことばと「全国の同窓会員が被災したときに助け合える組織作り」、そして「全国支部連絡協議会の復活」についてお話がありました。次に、尾関健治(高43回生) 関市長よりお祝いのことばに続き関市の観光PR等に関する報告(「せきじやらん」・鎌倉市との観光PRコラボ・「楽天よりkobo」寄贈(1,250円))がありました。

総会議事については、非常にスピーディーな進行で全議案無事に可決承認されました。

クを独り占めする者ありで、大変な盛りあがりようでした。

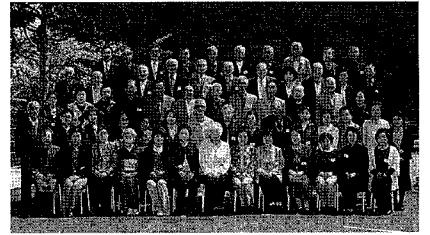
最後は全員が輪になって「青い山脈」「高校三年生」そして「関高校校歌」を熱唱。久し振りに血潮がたぎる思いでした。

卒業以来、関市を訪れるのは50数年振りという福島県在住者を始め、関東・関西など遠方から駆けつけてくれた人たちには、新しくなった関文化会館、市庁舎とその周辺に出来た諸施設、中池公園、そして立派に変容を遂げたわが関高校を送迎バスで巡ってもらいました。

皆さん一様にふるさとの変貌ぶりに驚きの表情でした。

懇親会の部では、安藤孝雄先生の乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中、いつまでも変わらずお元氣な恩師の坂田實先生・長谷部壮侯先生・福田邦夫先生より、懐かしいお話を聞き、名古屋支部村瀬尚男会長・美濃加茂支部福井寛悦会長からも、ご挨拶をいただきました。そして高23回生 パルト小石(ナポレオンズ・マジックをしないほう) こと小石至誠氏の軽快なウィットに富んだトークを聞き、ビンゴゲームで盛り上がりました。また、次年度への当番幹事の引き継ぎが高23回生から高25回生(高24回生の出席が無かったため)へと行なわれました。

そして、天池光治先生の指揮により全員で校歌斉唱、最後に鈴木良春本副会長による一本締めで総会・懇親会の幕を閉じました。初めて参加させていただきました東京支部総会、とても有意義な楽しい時間をありがとうございました。



団 長 粥 川 遼 (高54回生)

さくらウインドオーケストラ

さくらウインドオーケストラは、関高校吹奏楽部のOB・OGが中心となり平成19年に結成した吹奏楽団です。青春時代を共に過ごした仲間たちとまた一緒に吹奏楽をしたいという想いが集まり、高校在籍当時顧問としてご指導いただいた高井律子先生に相談したところ、快く指導を引き受けてくださいました。現在は10代から30代まで、約30人の団員で活動しています。

練習は第1・3水曜日と第2・4土曜日の計4回、わかさプラザの音楽室で行っています。

主な演奏活動として、平成23年以来毎年1回開催している定期演奏会があります。第2回以降は現役の吹奏楽部の皆さんにもゲストとして出演いただき、演奏会を盛り上げていただきました。今後も地域の皆さんの音楽に触れる良い機会にできるよう工夫を凝らしていきたいと考えています。

他にも、様々な場所への出張演奏を行っています。保育園の夕涼み会、地域の文化祭、オレンジリボンイベントなど内容は様々です。結成当初はただただ音楽を楽しみたいという思いが集まったバンドでしたが、様々な場所出張演奏をさせていただくうちに、団員一同、「地元で活動する吹奏楽団として、地域の皆さんに音楽の楽しさを伝えたい。」という新たな思いが芽生えてきたような気がします。今後は、より地域の皆様にとって身近なバンドになれるよう努力していきたいと思っております。

当団は来年2月23日、第4回定期演奏会を関市文化会館大ホールにて開催します。より多くの皆様楽しんでいただけるよう趣向を凝らして参ります。ぜひご来場ください。

最後になりましたが、当団では団員を大募集中です。ご自宅に楽器が長い間眠っているという方はいらっしゃいませんか？興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております。



さくらウインドオーケストラ 第4回定期演奏会

日時 平成 26年 2月 23日(日)
13:00 開場
13:30 開演
場所 関市文化会館大ホール
指揮 高井律子

■ 問い合わせ先 電話：090-2948-3879 (粥川) メール：sekisui.ob@hotmail.co.jp

災害ボランティア立ち上げに向けて

下記の表は、全国及び県内の同窓生の居住者状況です。
 東日本大震災のような大規模な災害時に、同窓会としても同窓生の方々に支援できたらと思います。現在役員会で支援のあり方や具体的な方法について検討中です。よりよい体制を構築するためにも、是非とも同窓生の方々からのご助言をお待ちしております。

連絡先 関高等学校同窓会長 堀部哲夫
 関高校同窓会本部役員
 関高等学校同窓会事務局

全 国		新潟		広島		岐阜県内	
北海道	8	富山	10	山口	2	関市	9,638
青森	2	石川	6	徳島	2	岐阜市	1,338
岩手	1	福井	3	香川	3	美濃市	1,227
宮城	6	岐阜	15,605	愛媛	5	美濃加茂市	760
秋田	4	静岡	61	高知	1	富加町	566
山形	1	愛知	1,430	福岡	11	郡上市	482
福島	7	三重	60	佐賀	1	各務原市	438
茨城	21	滋賀	36	長崎	0	坂祝町	154
栃木	15	京都	65	熊本	3	可児市	143
群馬	6	大阪	165	大分	2	多治見市	95
埼玉	118	兵庫	103	宮崎	0	山県市	90
千葉	134	奈良	39	鹿児島	2	大垣市	83
東京	393	和歌山	8	沖縄	5	川辺町	67
神奈川	209	鳥取	2	海外	73	瑞穂市	55
山梨	5	島根	4	合計	18,689	その他	469
長野	21	岡山	8			合計	15,605

(平成22年版 会員名簿より)

卒業生の進路状況

卒業年度	24	23	22	21	20
卒業者数	281	279	312	316	316
国公立大学	143	126	153	140	145
私立大学	737	647	668	653	729
東京大学	2	1	0	0	3
京都大学	7	0	5	5	5
名古屋大学	18	10	15	15	20
大阪大学	2	4	3	2	2
岐阜大学	24	17	40	25	32
早稲田大学	15	9	10	16	4
慶應義塾大学	8	8	5	4	6
南山大学	38	41	51	40	42
名城大学	63	64	41	41	54
立命館大学	56	58	88	66	93
同志社大学	45	31	33	43	35

※合格者の多い大学のみ掲載しました。

世代を超えた芸術の絆

第5回 関高OB美術展

関高OBの芸術を
古民家で展示

出品者募集

関高校(武儀高女)卒業生の交流と親睦、芸術の普及等を目的とした美術展を開催します。昨年に引き続き、卒業生の皆様から作品を公募します。

日 時：平成25年9月29日(日)～10月6日(日)
 午前10時～午後5時 最終日は午後4時まで
 開催場所：古民家 山麓 (関市本町7-13)
 部 門：絵画、書、写真、陶芸、デザイン (左記以外は受付不可)
 出 品 料：4,000円
 お 申 込：事務局までお問合せ下さい。後日、出品申し込み用紙を送付。
 お問合せ先：電話 0575-22-6455 平野義文(17回生)
 主 催：関高校OB美術展実行委員会
 後 援：岐阜県立関高校同窓会

岐阜支部総会開催のご案内

岐阜支部第6回総会及び懇親会を左記のとおり開催します。校歌などを合唱したり、先輩・友人との歓談にぜひ加わりませんか。卒業生の皆様には、卒業年次にかかわらず、また岐阜支部外からのご参加も歓迎します。

日 時 平成25年9月29日(日)
 午前11時より
 (受付 午前10時30分から)

場 所 岐阜市長良川畔
 岐阜グランドホテル
 (受付 午前10時30分から)

会費 懇親会費) 8千円
 058(233) 1111

申込・問い合わせ先
 ①岐阜支部事務局 吉田 徹
 (高校11回生)

058(233) 2157

②学年当番幹事代表

第17回生 藪下 浩

058(241) 1435

第18回生 篠田充弘

058(383) 7264

平成25年度 役員紹介

役 職	名 氏	年 齢
会 長	堀部 哲夫	(高21回)
副 会 長	加藤 洋子	(高13回)
	井上 博文	(高16回)
	日比野 信子	(高16回)
	藤井 市三	(高19回)
	清水 俊夫	(高20回)
	早川 佐知子	(高21回)
	鈴木 良春	(高22回)
	筒田 義和	(高23回)
	立川 雅俊	(高25回)
	川嶋 亨治	(高26回)
	佐藤 敏則	(高27回)
	浅野 欽一郎	(高29回)
	長尾 一郎	(高32回)
書 記	浅野 登代子	(高10回)
	山田 正樹	(高24回)
会 計	武藤 玲子	(高13回)
	神谷 泰久	(高21回)
会 計 監 査	伊佐地 秀一	(高21回)
	古田 貴巳	(高39回)
会 報 委 員 長	樺山 舜亮	(高14回)
会 報 委 員	梅田 洋子	(高11回)
	高井 奈津子	(高14回)
	野中 歌子	(高15回)
	平田 和子	(高16回)
	黒野 理津子	(高38回)
	長尾 歩	(高40回)
	乾 美保子	(高42回)

第65回生(平成25年3月卒業) 同窓会クラス幹事

学年幹事	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組
日下部 七香	長 美 志	堀 端 壮	坂 井 望 美	成 野 淳 基	石 竹 史 人	森 山 華 代	西 田 優 希
奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼
奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼	奥 山 涼

事務局だより

▼転居などにより、会員の皆様へのご連絡や「桜ヶ丘だより」のご送付に支障が生じております。つきましては、各学年の幹事の皆様や、会員の皆様で本人からの情報を事務局までお知らせ頂けると幸いに存じます。

▼学年同窓会開催の折には、事務局までお知らせください。補助金を支給しております。

▼事務局では会報掲載用の原稿を募集しております。同窓会役員の皆様のご活躍の様子や、同窓会での交歓のひとときなどの記事をお写真とともに寄せてください。(お写真は返送いたします)

▼今年度は会費の納入はございません。不審な勧誘・問い合わせにはくれぐれもご注意ください。